



WorkWithPlus 7.2

インストールガイド

2015 年 7 月更新



GeneXus Japan Inc.

Copyright © 2015 GeneXus Japan Inc. All rights reserved.

本書には正確な情報を記載するように努めました。ただし、誤植や制作上の誤記がないことを保証するものではありません。なお、本書に記載されている画面はソフトウェアの更新などにより予告なく変更される場合があります。ご了承ください。

本書に記載のその他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。GeneXus Japan Inc. は他社製品の性能または使用につきましては一切の責任を負いません。

ジェネクス・ジャパン株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 2 丁目 27 番 3 号

電話番号 : 03-6303-9381 FAX : 03-6303-9980

<http://www.genexus.jp>

目次

はじめに	4
WorkWithPlus 7.2 について	5
MIT ライセンスについて	5
システム要件	6
アプリケーションのインストール	7
Dvelop.ProtectionServer のインストール	9
重要：旧バージョンのライセンスファイルのアップデートについて	12
ライセンスの請求	15
新規ライセンス請求	15
継続ライセンス請求	19
重要：ライセンスの請求・取得に関する注意事項	21
新規ライセンス請求・取得に関する注意	21
継続ライセンス請求・取得に関する注意	22
アプリケーションのアップグレード	24
ライセンスの取得	28
ライセンスの移行	31
2台のコンピューター間でライセンスを移行する	31
ライセンスのアンインストール	36
アプリケーションのアンインストール	37
ライセンスの再発行について	40
エビデンスファイルを提出できる場合	40
エビデンスファイルを提出できない場合	42
緊急ライセンスについて	43
付録：ライセンス請求・取得チェックリスト	44
新規ライセンス請求・取得チェックリスト	44
継続ライセンス請求・取得チェックリスト	45



はじめに

本書では、WorkWithPlus のインストール、ライセンスの請求および登録、ライセンス移行手順について説明しています。また、何らかのトラブルによって、ライセンスを喪失してしまった場合の再発行の手順についても説明しています。

ライセンス請求の前に注文書を弊社宛に郵送して頂く必要があります。また、弊社での注文書の確認前にライセンスの請求を行うと、ライセンスの発行が遅れる場合があります。なお、事前にユーザー登録された担当者以外のライセンスの請求は受け付けておりません。

WorkWithPlus のライセンスの転売は禁止されております。同一のお客様および組織変更などの場合を除き、ほかのお客様に変更／譲渡することはできません。ライセンスの請求・登録の際には必ず内容を確認し、ライセンスの取り扱いには十分に注意してください。



WorkWithPlus 7.2 について

WorkWithPlus の最新バージョンである 7.2 では、スマートで直観的、柔軟且つパワフルなフロントエンドフレームワーク「Bootstrap 3.0」が採用されています。「Bootstrap」は、Twitter に搭載された最も人気の高いフロントエンドフレームワークであり、世界的なオープンソース(MIT ライセンス*)プロジェクトの 1 つです。

WorkWithPlus 7.2 では、従来の WorkWithPlus のシステム要件であった「Ext JS」および「gxui Library」のインストールは不要です。

MIT ライセンスについて

MIT ライセンスとは、BSD ライセンスに基づくオープンソースライセンスの 1 つです。このライセンスの概要は次のとおりです：

1. 本ソフトウェアを無償・無制限で誰でも使用することが可能である。ただし、著作権表示ならびライセンスの全文（原文）をソースコード内またはソースコードに同梱したライセンス表示用の別ファイルなどに記載する必要がある。
2. 作者または著作権者はソフトウェアに関してなんら責任を負わない。

MIT ライセンスの原文および日本語訳文については以下を参照してください。

- オープンソース・イニシアティブの MIT ライセンスの原文

<http://opensource.org/licenses/mit-license.php>

- オープンソースグループ・ジャパンの MIT ライセンス日本語訳文

http://sourceforge.jp/projects/opensource/wiki/licenses%2FMIT_license



システム要件

WorkWithPlus 7.2 を実行するには、次のソフトウェアが必要です。

- GeneXus X Ev2、GeneXus X Ev3

重要 : WorkWithPlus 7.2 は GeneXus X Evolution 1 およびそれ以前のバージョンには対応していません。

重要 : WorkWithPlus 7.2 より、ライセンスファイルが GeneXus License Manager 形式に変更されました。従来のライセンスファイル (Runtime.config) をお使いの場合、WorkWithPlus 7.2 でそのままご使用頂けますが、アプリケーションをアンインストール場合には、**ライセンスをアンインストールする必要があります**。旧バージョンのライセンスをアンインストールする手順については、旧バージョンの WorkWithPlus のインストーラに付属のインストールガイドを参照してください

参考 : GeneXus のシステム要件については、GeneXus に付属のインストールガイドを参照してください。

注意 : WorkWithPlus で「Excel エクスポート」機能を使用するには、web\bin 内に「Jakarta.POI.dll」を配置する必要があります。

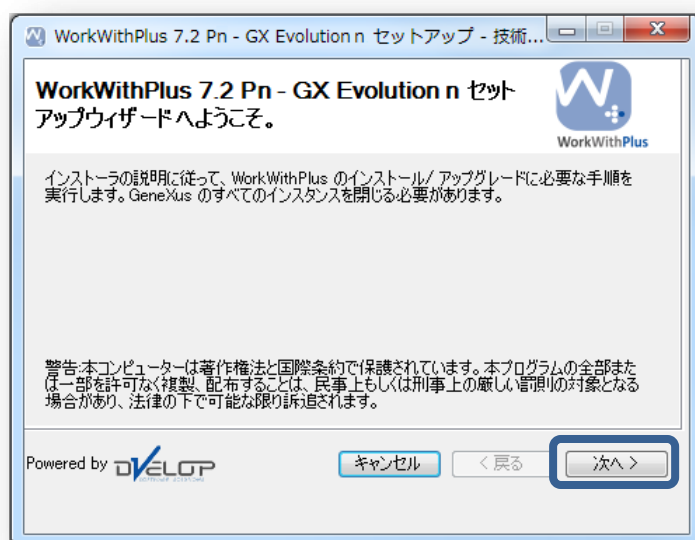
アプリケーションのインストール

このセクションでは、WorkWithPlus のインストール、およびライセンスの請求手順について説明します。

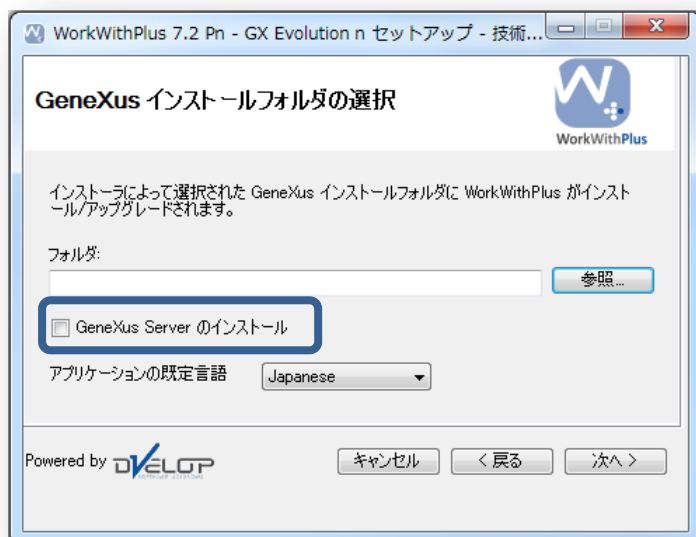
1. GeneXus Japan Web ページから製品版の Work With Plus 7.2 のアプリケーションをダウンロードします。

<http://www.genexus.com/products-japan/www?ja>

2. 「DVelopWorkWithPlus_7.2.zip」を解凍します。
3. 「DVelopWorkWithPlus_7.2_Pn_Evn_Setup.exe」をダブルクリックして、インストーラを起動します。



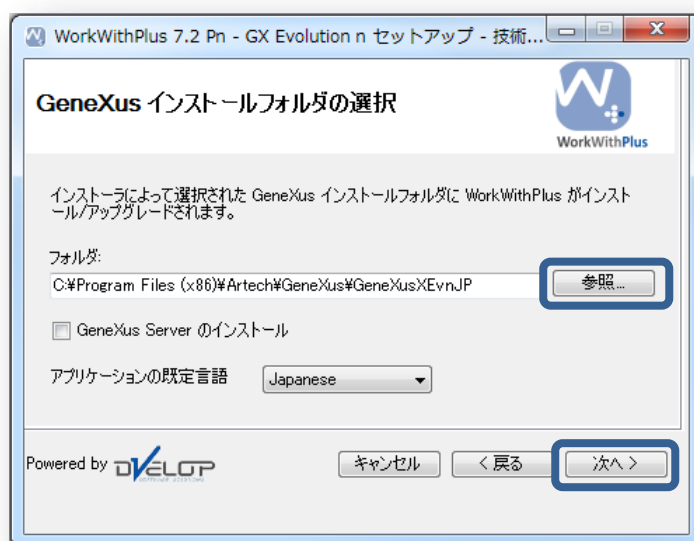
4. 「次へ」をクリックします。次のようなインストール先のフォルダを指定する画面が表示されます。



参考：「GeneXus Server のインストール」チェックボックスは GeneXus Server X にインストールする場合にのみ、選択してください。なお、GeneXus Server X にインストールする場合、ライセンスが不要なため、サイトコードの生成とライセンスファイルの取得プロセスはありません。

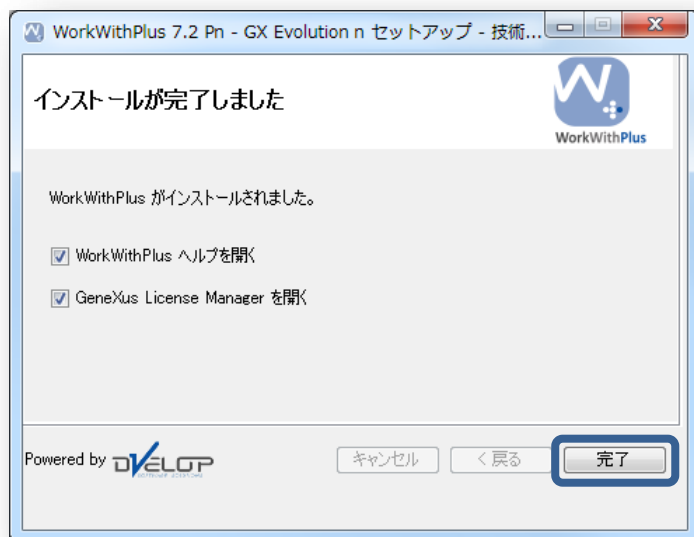
5. 「参照」をクリックして、次のようにインストール場所を指定します：

「C:\Program Files\Artech\GeneXus\GeneXusXEvnJP」





6. 「次へ」をクリックします。次のようなインストール完了画面が表示されます。



7. 「完了」をクリックします。これでインストールは完了です。「GeneXus License Manager を開く」オプションが選択されている場合（既定）、ライセンスを請求するための「GeneXus License Manager」が開きます。

ライセンスの請求については、後述の「[ライセンスの請求](#)」(P15)を参照してください。

Dvelop.ProtectionServer のインストール

Protection Server をお使いの場合、次の手順に従って Protection Server がインストールされているコンピューターまたはサーバーに「Dvelop.ProtectionServer」をインストールする必要があります。

1. Protection Server がインストールされているマシンに「Dvelop.ProtectionServer_1.1」をコピーします。

2. 「DVelop.ProtectionServer_1.1」をダブルクリックします。次のような画面が表示されます。



3. 「次へ」をクリックします。次のようなインストール完了画面が表示されます。

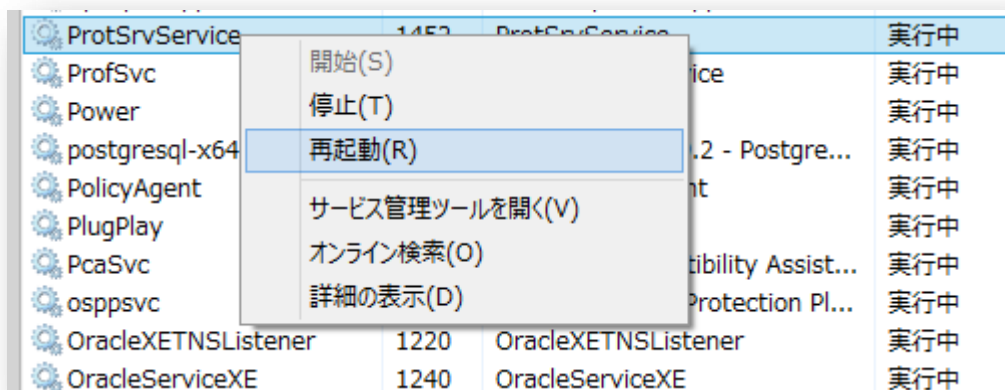


4. 「完了」をクリックすると、GeneXus Protection Server が起動します。
5. この段階では、「Product」に WorkWithPlus がリストされていないため、GeneXus Protection Server を終了します。

6. 「タスクマネージャー」を起動し、「サービス」タブをクリックします。次のような画面が表示されます。



7. 「ProtSrvService」を右クリックし、コンテキストメニューから「再起動」をクリックします。



8. GeneXus Protection Server の「Product」に「WorkWithPlus」がリストされていることを確認します。

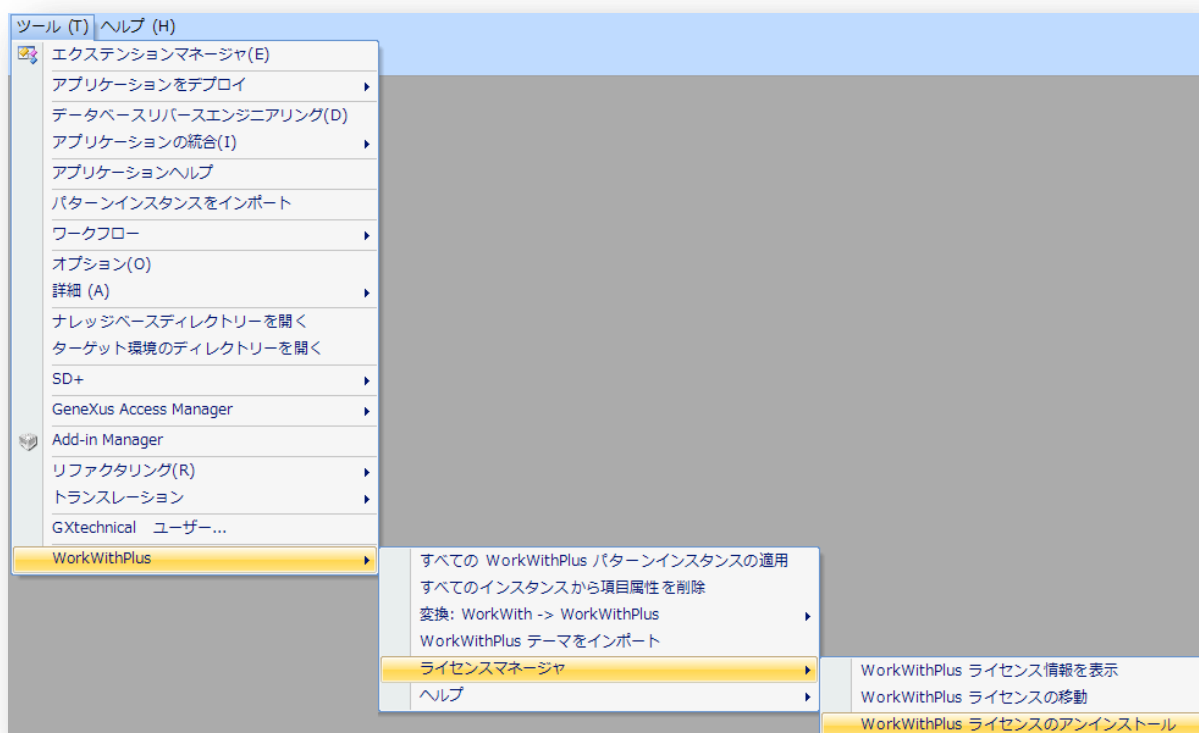
重要：旧バージョンのライセンスファイルのアップ デートについて

WorkWithPlus 7.2 より、ライセンスファイルが GeneXus License Manager 形式に変更されました。従来のライセンスファイル（Runtime.config）をお使いの場合、WorkWithPlus 7.2 でそのままご使用頂けます。

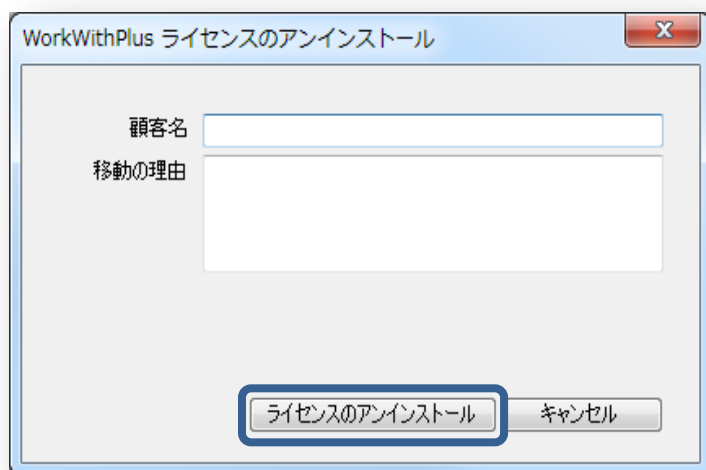
このセクションではライセンスの残存日数がある状態で、従来のライセンスファイルから GeneXus License Manager 形式のライセンスにアップデートする方法について説明します。

注意： GeneXus License Manager 形式のライセンスに変更する場合、従来の Runtime.config ファイルをアンインストールする必要があります。一度アンインストールした Runtime.config ファイルは使用できなくなります。

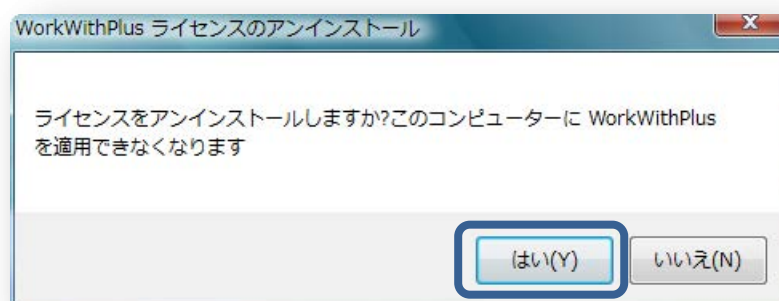
1. WorkWithPlus 7.2 がインストールされている GeneXus を起動します。
2. 「ツール」 > 「WorkWithPlus」 > 「ライセンスマネージャ」 > 「WorkWithPlus ライセンスのアンインストール」と選択します。



次のような「WorkWithPlus ライセンスのアンインストール」画面が表示されます。



3. 「顧客名」フィールドに会社名、「移動の理由」フィールドに理由を入力し、「ライセンスのアンインストール」をクリックします。
4. 「Uninstall.WorkWithPlus」ファイルの保存先を指定するダイアログが表示されたら、保存先を指定し、「OK」をクリックします。
5. 次のようなメッセージが表示されます。アンインストールする場合には「はい」をクリックします。このとき、「Uninstall.WorkWithPlus」ファイルが自動生成され、手順 4 で指定した場所に保存されます。



6. 「WorkWithPlus ライセンスのアンインストール」ダイアログが表示されます。記載されているライセンスのアンインストール手順を確認し、「OK」をクリックします。



7. 既定の Web ブラウザが起動し、「ライセンスのアンインストール」ページが表示されますが、このページには何も入力せず、そのまま閉じます。
8. 新規メールを作成し、**以下のファイル**をご購入のパートナーまたは keysmaster@genexus.jp に送信します。
 - a) 前述の手順 4 で保存した「Uninstall.WorkWithPlus」ファイル
 - b) GeneXus License Manager で生成した「.gxa」ファイル

このときメールの件名を次のようにしてください：**WWP ライセンス形式の更新**

重要：パートナーから WorkWithPlus を購入されたお客様の場合、上記のファイルをパートナー宛に送信し、パートナーからライセンスキーを受領してください。GeneXus License Manager を使用したライセンス請求の詳細については、次の「[ライセンスの請求](#)」(P15)を参照してください。

9. ライセンスが格納された「.gxa」ファイルが届いたら、後述の「[ライセンスの取得](#)」(P28)セクションの手順にしたがって、ライセンスを取り込みます。

ライセンスの請求

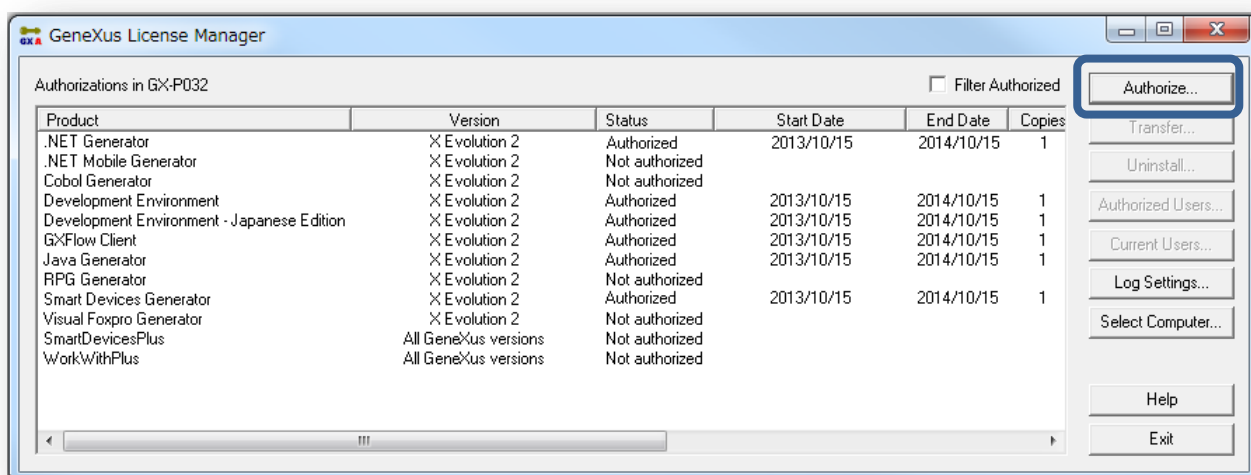
このセクションでは、ライセンスを新規で請求する場合、ライセンスの使用期限を残した状態で継続（期限の延長）請求する場合のそれぞれの手順について説明しています。

重要：以前のバージョンのライセンスキーファイル（Runtime.config ファイル）が有効期限内である場合、「GeneXus License Manager」によるライセンスの請求は不要です。ただし、回目のライセンス更新の際には、「GeneXus License Manager」によるライセンスの請求が必要となります。

新規ライセンス請求

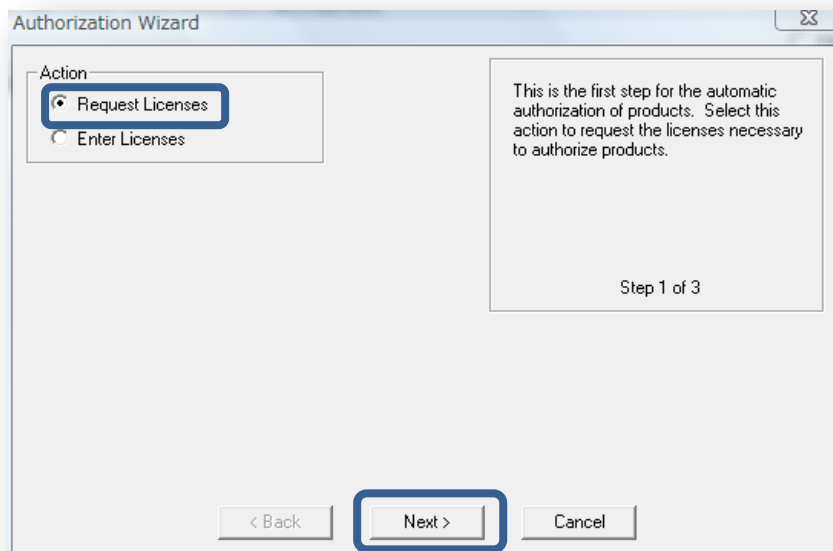
1. 「アプリケーションのインストール」の手順 7 に従って「GeneXus License Manager」を起動します。
また、GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動することもできます（Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします）。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



2. 「**Authorize**」 ボタンをクリックします。

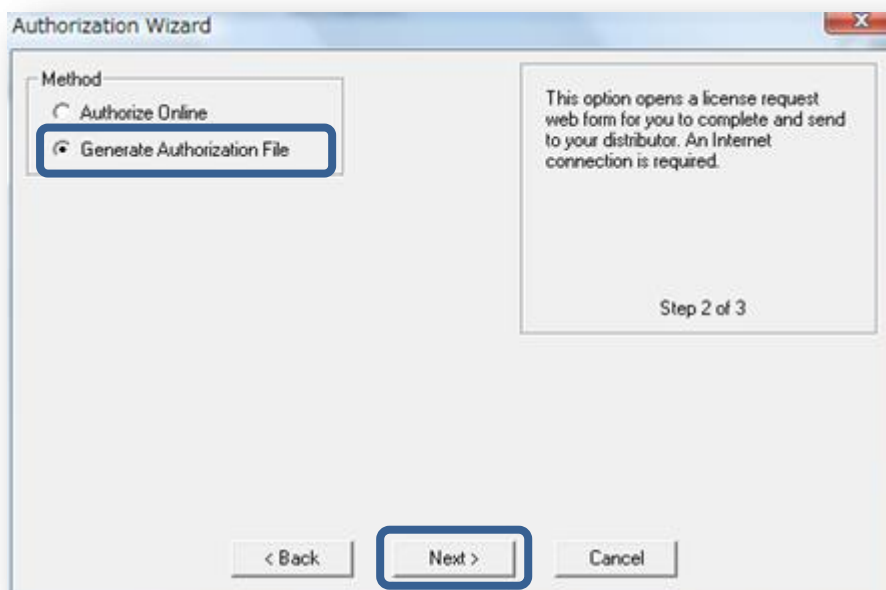
ライセンスの請求または取り込みオプションが表示されます。



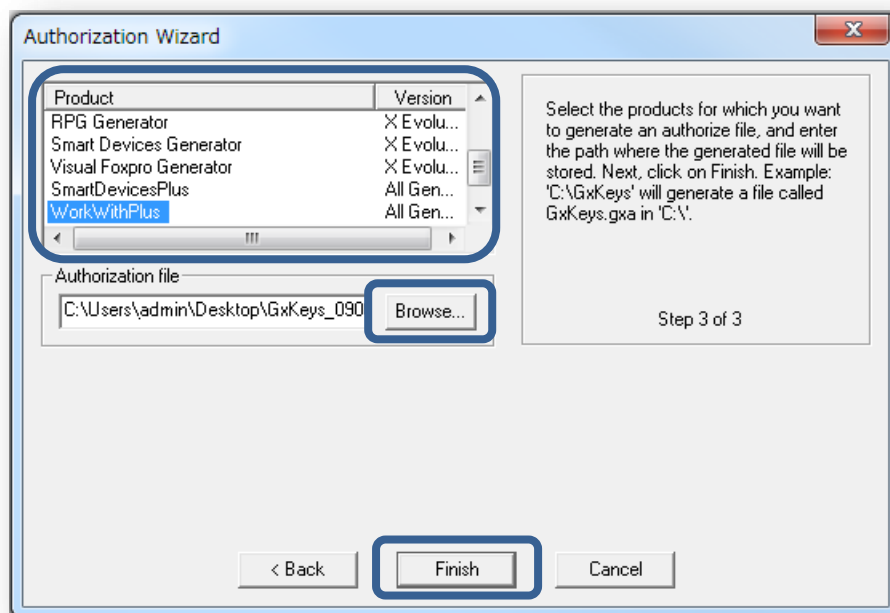
3. 「**Request License**」を選択してから「**Next**」ボタンをクリックします。

次のようなライセンス請求方法の選択画面が表示されます。

4. 「**Generate Authorization File**」を選択してから「**Next**」ボタンをクリックします。

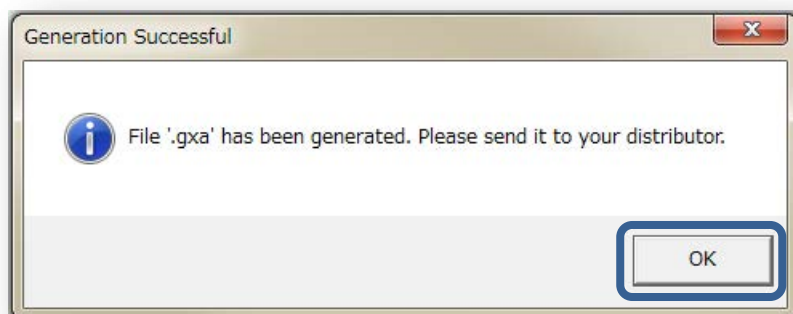


ライセンスを請求する製品の選択画面が表示されます。



5. 「**Product**」リストから「**WorkWithPlus**」を選択してから、「**Finish**」ボタンをクリックします。
6. 「**.gxa**」という名前のファイルが生成されます。このファイルの保存先を変更する場合には、「**Browse**」ボタンをクリックしてから、任意の場所を指定します。

「**.gxa**」ファイルが生成されたことを示す、次のようなダイアログが表示されます。



7. 「**OK**」ボタンをクリックします。保存先を変更していない場合、GeneXus のプログラムと同じ場所に「**.gxa**」ファイルが保存されます。





8. 手順7で生成された .gxa ファイルの名称を「WWP_XXXX.gxa」のように変更します。「XXXX」には注文書に記載されているライセンス番号を入力してください。
9. お使いのメールアプリケーションで新規メールを作成し、上記の手順で生成した「.gxa」ファイルを keysmaster@genexus.jp に送信します。

重要：パートナーから WorkWithPlus を購入されたお客様の場合、「.gxa」ファイルをパートナー宛に送信し、パートナーからライセンスキーを受領してください。受領したライセンスキーを取り込む方法については、後述の「[ライセンスの取得](#)」(P28)を参照してください。

これで WorkWithPlus のライセンス請求は完了です。ライセンスキー ファイルを登録する方法については、後述の「[ライセンスの取得](#)」(P28)を参照してください。

重要：ライセンスの発行は DVelop 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行なってください。

ライセンス請求受付時間

土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

継続ライセンス請求

ライセンスの有効日数が残存している状態で、有効日数を延長（ライセンスを継続）することができます。このセクションでは、継続ライセンス請求について説明します。

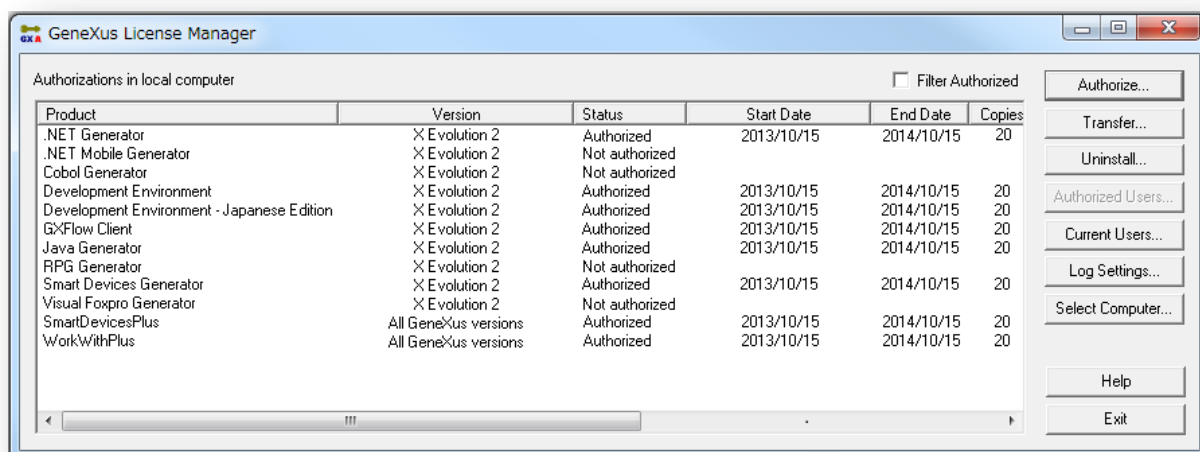
重要： GeneXus License Manager の「Status」が「Expired」（残存日数が「0」）になると、ライセンス失効により、WorkWithPlus を使用できなくなります。ライセンスの期限切れを防ぐため、ライセンスの継続請求は 5 営業日前までをお願いします。ライセンスを失効した場合、新規にライセンスを請求しなおす必要があります。

また、ライセンス失効までの残存日数が「1 日」の状態で請求する際には、ライセンスをアンインストールしてからライセンス請求する必要があります。これはウルグアイとの時差の都合により「1 日」残されていた日数が消化され、「Status」が「Expired」となり、取り込みができなくなるためです。

次の手順にしたがって、継続ライセンスを請求します。

1. GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します（Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします）。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。





2. 「GeneXus License Manager」の起動時の画面（上図を参照）のスクリーンショットを撮り、保存します。スクリーンショットには「**Product**」、「**Version**」、「**Status**」、「**Start Date**」、「**Copies**」、および「**Restriction**」の「**Validity Days**」の内容が表示されている必要があります。
3. [「新規ライセンス請求」](#) (P15)のセクションの手順 2～8 にしたがいます。
4. メールアプリケーションで新規メールを作成し、以下のファイルと情報を keysmaster@genexus.jp に送信します。
 - 「GeneXus License Manager」の起動画面のスクリーンショット
 - 「Windows」フォルダにある「GxProt.log」ファイル
 - 上記の手順で作成した「.gxa」ファイル
 - 注文書に記載されているライセンス番号

以上でオフラインでの継続ライセンス請求は完了です。

ライセンスキーは、上記のファイルを送信したメールアドレスに送信されます。ライセンスを有効にする方法については、後述の「[ライセンスの取得](#)」(P28)を参照してください。

重要：ライセンスの発行は DVelop 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行なってください。

ライセンス請求受付時間

土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

重要：ライセンスの請求・取得に関する注意事項

このセクションでは、新規および継続ライセンス請求・取得の際の制限ならびに注意点について記載しています。円滑にライセンスが発行されるよう、ここでの記載内容をご確認のうえ、新規および継続ライセンスの請求・取得を行ってください。

新規ライセンス請求・取得に関する注意

新規ライセンス請求・取得の際には、必ず以下の記載内容をご確認ください。

1. ライセンスの発行はウルグアイの DVelop 社で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。また、ライセンスの請求受付時間は次のとおりです：

土日祝日・月末日・年末年始を除く 9:00～16:00

2. WorkWithPlus の場合、ライセンスの発行日から月をまたいでライセンスキーを取得すると、ライセンスが無効になります。ライセンスを請求および取得する場合は、月をまたぐことがないよう、十分にご注意ください。

例：7月24日にライセンスを請求し、8月1日にライセンスを取得する => ライセンスが無効になります！
この場合は、必ず7月31日までにライセンスを取り込んでください。

3. GeneXus License Manager 上に「**WorkWithPlus Trial**」という製品名が表示されますが、日本では取り扱っておりません。WorkWithPlus のライセンスを請求する場合、必ず「**WorkWithPlus**」を選択してください。
4. GeneXus など他の製品と同時にライセンスを請求する場合であっても、製品ごとに個別にライセンス請求ファイルを作成する必要があります。WorkWithPlus 以外の製品のライセンス請求については、該当製品のインストールガイドを参照してください。
5. GeneXus パートナーから WorkWithPlus を購入されている場合、.gxa ファイルをパートナー宛に送信してください。このとき、.gxa ファイルの名称は次のように指定してください：

「WWP_XXXX.gxa」：「XXXX」には注文書に記載されているライセンス番号を入力してください。

参考：「新規ライセンス請求・取得」を行う際は、巻末の「[付録：ライセンス請求・取得チェックリスト](#)」(P44) の「[新規ライセンス請求・取得チェックリスト](#)」(P44) に記載されている内容をご確認ください。記載されているチェック項目に1つでも当てはまらない項目がある場合（オプションを除く）、正しくライセンスが発行されない、または取り込めない可能性があります。



継続ライセンス請求・取得に関する注意

継続ライセンス請求・取得の際には、必ず以下の記載内容をご確認ください。

1. ライセンスの発行はウルグアイの DVelop 社で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。また、ライセンスの請求受付時間は次のとおりです：

土日祝日・月末日・年末年始を除く 9:00～16:00

2. WorkWithPlus の場合、ライセンスの発行日から月をまたいでライセンスキーを取得すると、ライセンスが無効になります。ライセンスを請求および取得する場合は、月をまたぐことがないよう、十分にご注意ください。

例：7月24日にライセンスを請求し、8月1日にライセンスを取得する => ライセンスが無効になります！

この場合は、必ず7月31日までにライセンスを取り込んでください。

3. GeneXus License Manager の「Status」が「Expired」(残存日数が「0」)になると、ライセンス失効により WorkWithPlus を使用できなくなります。

ライセンスの期限切れを防ぐため、ライセンスの継続請求は5営業日前までをお願いします。

4. ライセンスが既に期限切れの場合、新規にライセンスを請求しなおす必要があります。

また、ライセンス失効までの残存日数が「1日」の状態で請求する際には、ライセンスをアンインストールしてからライセンスを請求してください。

5. GeneXus など他の製品と同時にライセンスを請求する場合であっても、製品ごとに個別にライセンス請求ファイルを作成する必要があります。WorkWithPlus 以外の製品のライセンス請求については、該当製品のインストールガイドを参照してください。

6. GeneXus License Manager 上に「**WorkWithPlus Trial**」という製品名が表示されますが、日本では取り扱っておりません。WorkWithPlus のライセンスを請求する場合、必ず「**WorkWithPlus**」を選択してください。

7. 継続ライセンス請求の場合、次のファイルと情報を GeneXus パートナーまたは keysmaster@genexus.jp までお送りください。

- 「GeneXus License Manager」の起動画面のスクリーンショット
- 「Windows」フォルダにある「GxProt.log」ファイル
- 「継続ライセンス請求」の手順3で作成した「.gxa」ファイル
- 注文書に記載されているライセンス番号



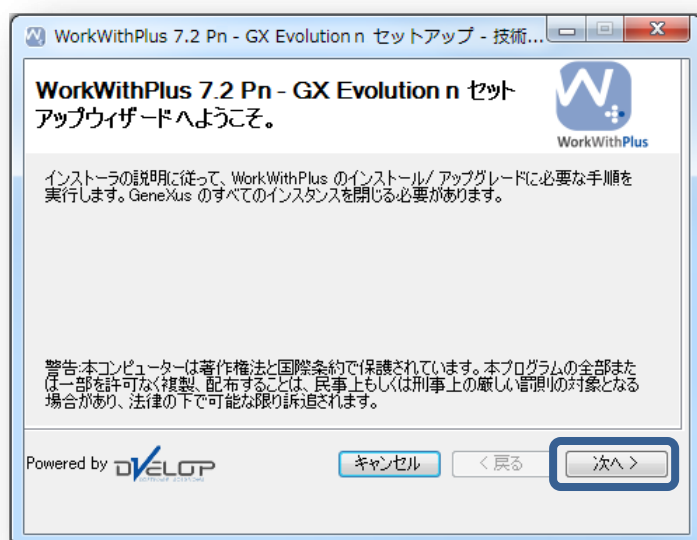
8. 継続ライセンスの場合、新しいライセンスを取り込む直前に、古いライセンスをアンインストールする必要がある。ライセンスのインストール方法については、後述の「[ライセンスのアンインストール](#)」(P36)を参照してください。

参考：「継続ライセンス請求・取得」を行う際は、巻末の「[付録：ライセンス請求・取得チェックリスト](#)」(P44)の「[継続ライセンス請求・取得チェックリスト](#)」(P45)に記載されている内容をご確認ください。記載されているチェック項目に 1 つでも当てはまらない項目がある場合（オプションを除く）、正しくライセンスが発行されない、または取り込めない可能性があります。

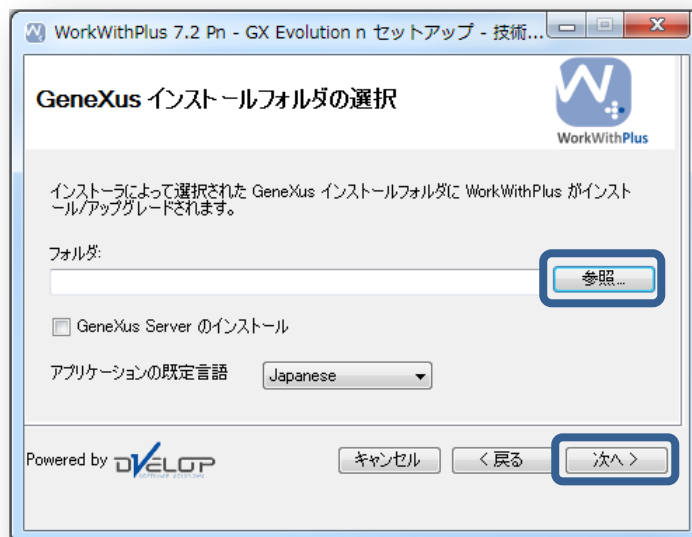
アプリケーションのアップグレード

このセクションでは、既にインストールされている WorkWithPlus を最新版にアップグレードする方法について説明します。

1. GeneXus Japan Web ページから最新の製品版 WorkWithPlus アプリケーションをダウンロードします。
<http://www.genexus.com/products-japan/www?ja>
2. 「DVelopWorkWithPlus_7.2.zip」を解凍します。
3. 「DVelopWorkWithPlus_7.2_Evn_Setup.exe」をダブルクリックして、インストーラを起動します。



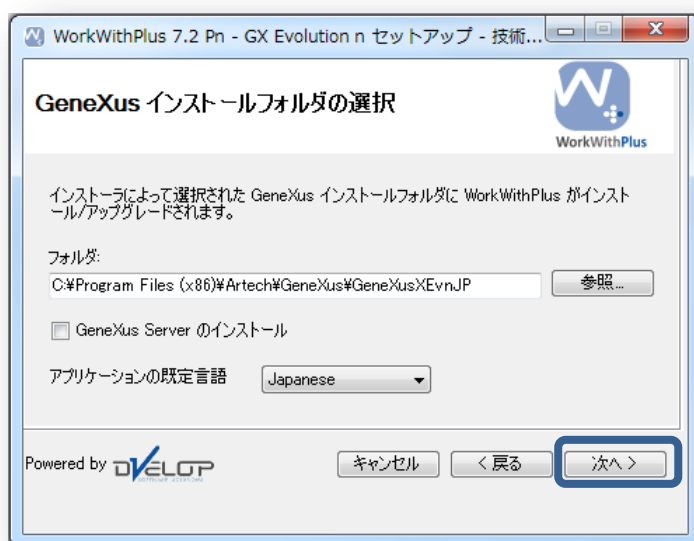
4. 「次へ」をクリックします。次のようなインストール先のフォルダを指定する画面が表示されます。



参考：「GeneXus Server のインストール」チェックボックスは GeneXus Server X もアップグレードする場合にのみ、選択してください。

5. 「参照」をクリックして、次のようにインストール場所を指定します：

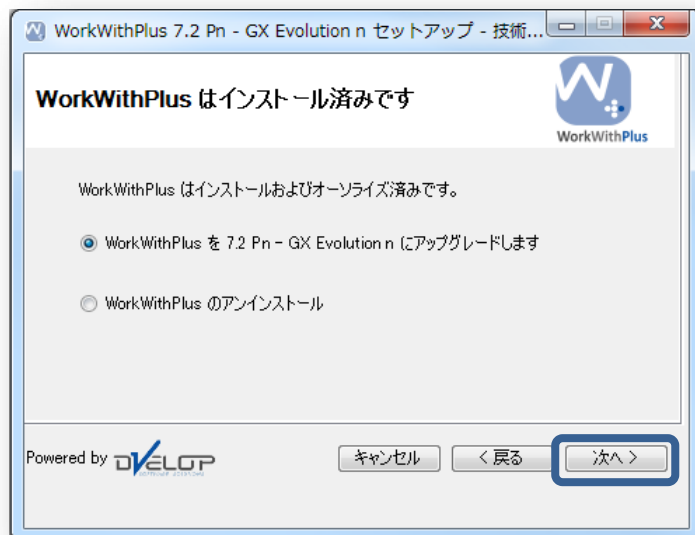
例：「C:\Program Files\Artech\GeneXus\GeneXusXEvnJP」



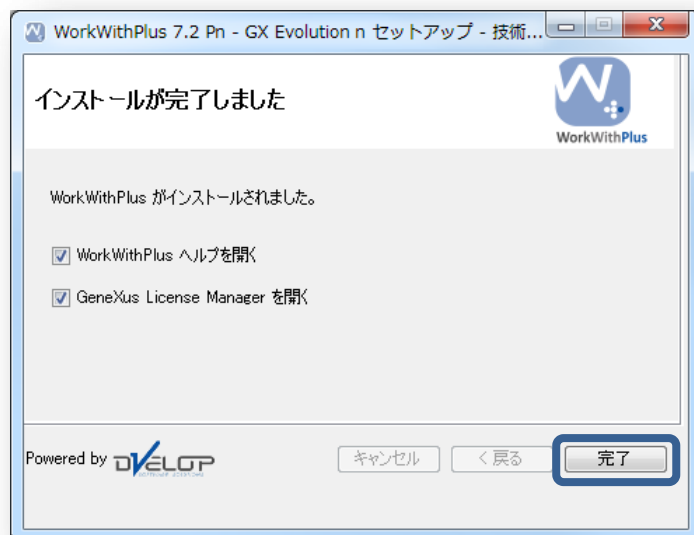
6. 「次へ」をクリックします。



7. WorkWithPlus がインストール済みであることを示す以下のダイアログが表示されます。一番上の WorkWithPlus をアップグレードするオプションを選択し、「次へ」をクリックします。



8. 「次へ」をクリックします。次のようなインストール完了画面が表示されます。



9. 「完了」をクリックします。これでソフトウェアのアップグレードは完了です。「GeneXus License Manager を開く」オプションが選択されている場合（既定）、ライセンスを請求するための「GeneXus License Manager」が開きます。ライセンス請求の必要がない場合には、「GeneXus License Manager」をそのまま閉じてください。



重要：以前のバージョンのライセンスキーファイル（Runtime.config ファイル）が有効期限内である場合、「GeneXus License Manager」によるライセンスの請求は不要です。ただし、次回のライセンス更新の際には、「GeneXus License Manager」によるライセンスの請求が必要となります。ライセンスの請求については前述の「[ライセンスの請求](#)」（P15）を参照してください。

参考：正しくアップグレードされていることを確認するには、GeneXus を起動し、GeneXus の「ツール」メニューから「WorkWithPlus」>「ヘルプ」>「WorkWithPlus について」と選択してから、表示されるバージョン情報を参照してください。

ライセンスの取得

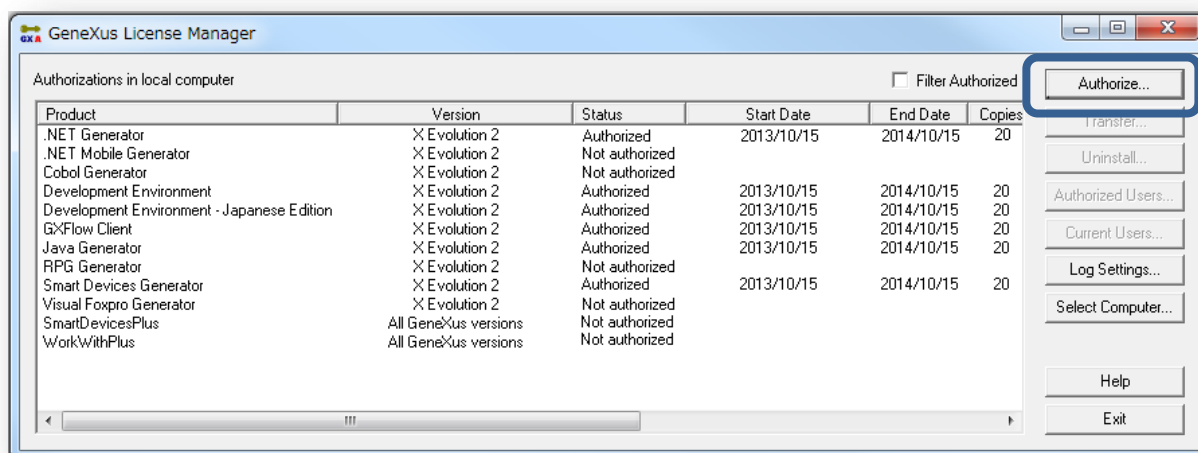
発行されたライセンスキーは、ユーザー登録済みのメールアドレスに送信されます。添付のファイルを開いて、ライセンスを請求したコンピューターにデータを取り込むことでライセンスを登録することができます。

このライセンスファイルを開くと、「**GeneXus License Manager**」が起動して自動的にライセンスキーを取り込み、取り込み結果が画面に表示されます。

ここでは、ライセンスファイルの取り込み手順を説明します。

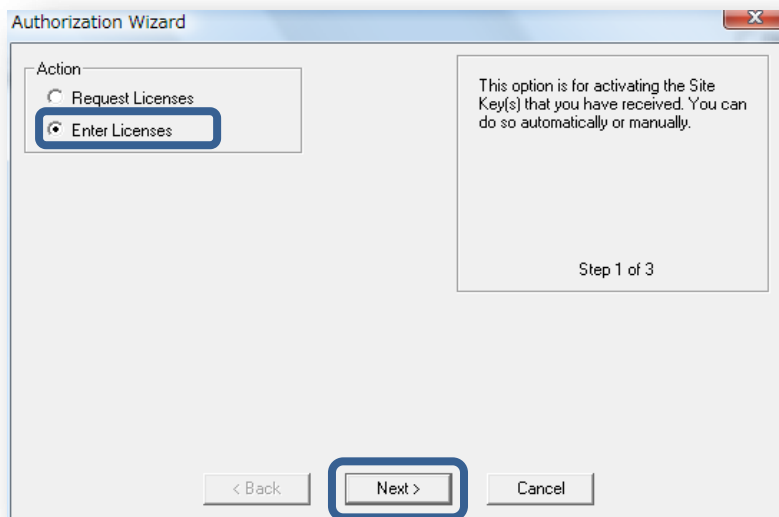
1. メールに添付されたライセンスファイル（.gxa ファイル）を、ライセンスを請求したコンピューターにコピーします。
2. GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します（Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします）。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類とライセンスの状態が表示されます。

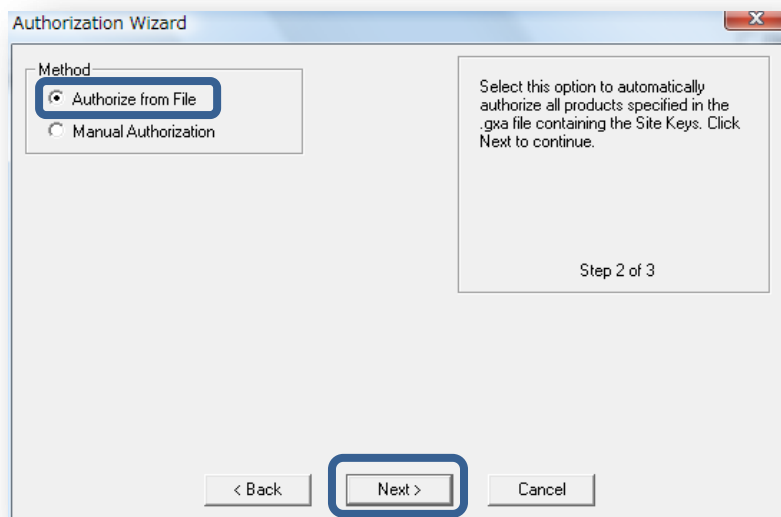


3. ライセンスを更新する場合は、事前にライセンスをアンインストールする必要があります。「[ライセンスのアンインストール](#)」(P36)セクションの手順 2~3 にしたがいます。
4. 「**Authorize**」ボタンをクリックします。

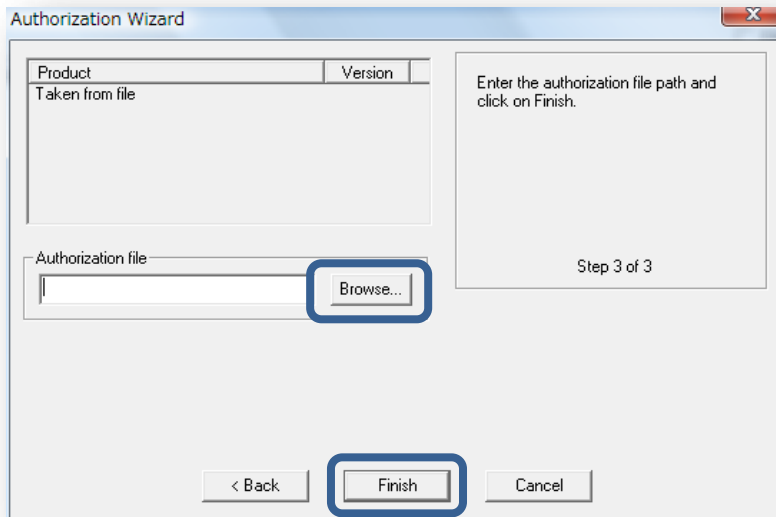
次のような取り込み画面が表示されます。



5. 「**Enter Licenses**」を選択してから「**Next**」ボタンをクリックします。
6. 「**Authorize From File**」を選択して「**Next**」ボタンをクリックします。



次のようなライセンスファイルの選択画面が表示されます。



7. 「**Browse**」ボタンをクリックして、手順 1 でコピーしたファイルを選択し、「**Finish**」ボタンをクリックします。

これでライセンスの取得（登録）は完了です。

ライセンスの移行

複数のライセンスを一括で請求した後で、WorkWithPlus を使用する各ユーザーにトランスファー（.trf）ファイルを作成して配布（移行）することができます。この場合、各ユーザーのコンピューターにインストールされている

「GeneXus License Manager」のバージョンは、ライセンスの移行元のコンピューターにインストールされているバージョンと同一である必要があります。これとは逆に、個別に請求したライセンスを一箇所にまとめることもできます。ただし、ライセンスの有効日数（残存日数）と「GeneXus License Manager」の「Start Date」（開始日）が同じである必要があります。また、この場合も「GeneXus License Manager」のバージョンが同じでなければなりません。

重要：以前のバージョンのライセンスファイル (Runtime.config)をお使いの場合、このセクションに記載されているライセンスの移行方法は適用されません。以前のバージョンのライセンスを移行する方法については、WorkWithPlus 6.2 以前のバージョンのインストールガイドを参照してください。

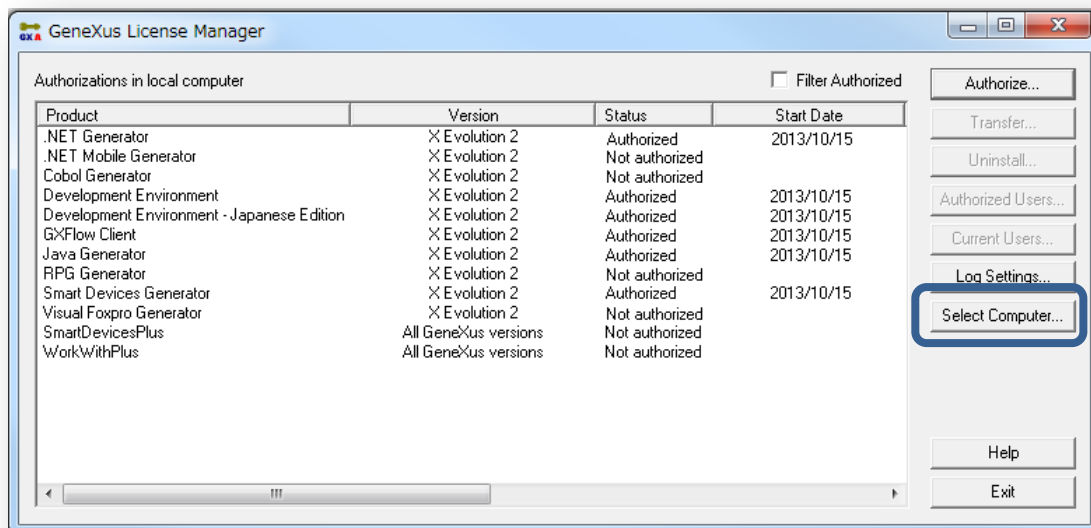
2 台のコンピューター間でライセンスを移行する

ここでは、2 台のコンピューター間で 1 つ以上のライセンスを移行する方法について説明します。この場合、はじめにライセンスの移行先のコンピューター（ターゲットマシン）でライセンス情報の登録用ファイルを作成（Register License）し、次にライセンスがインストールされているコンピューター（ソースマシン）でライセンス情報を書き出し（Transfer Out）、最後にターゲットマシンでライセンスを読み込む（Transfer In）操作を実行する必要があります。

重要：ライセンスを移行する前に各ユーザーのコンピューターおよびサーバーにインストールされている「GeneXus License Manager」のバージョンが同じであることを確認してください。異なるバージョン間ではライセンスの移行はできません。

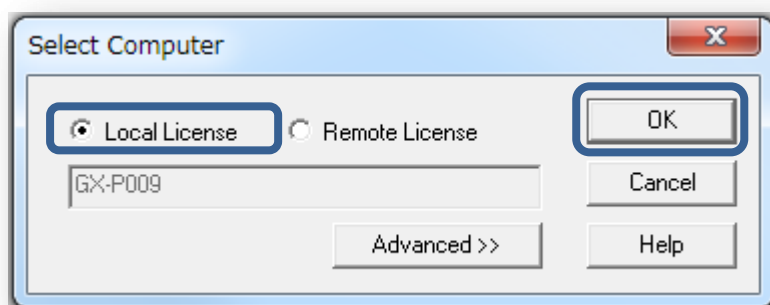
1. ターゲットマシン（ライセンスの移行先）の GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します（Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします）。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。



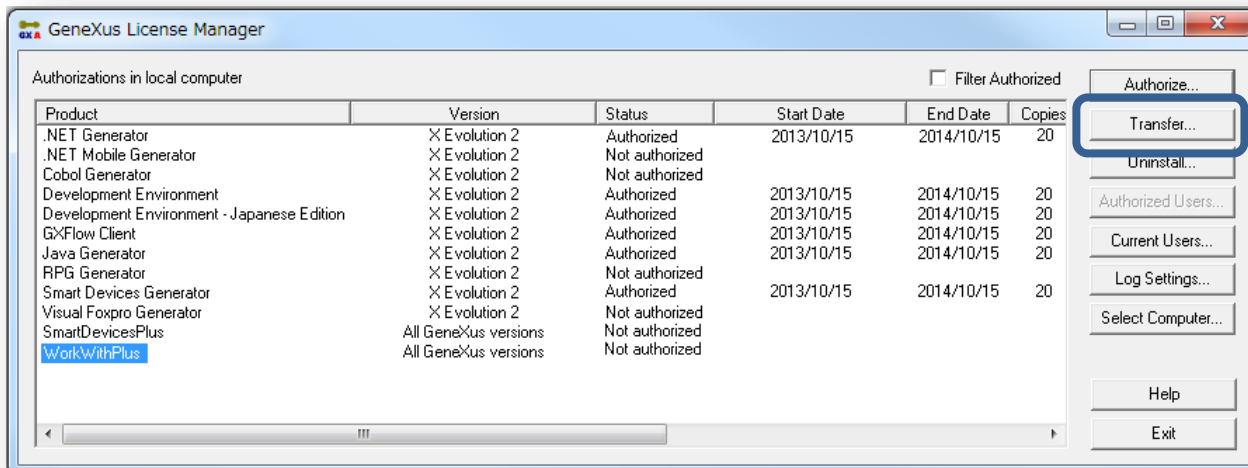
この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。

2. 「**Select Computer**」をクリックします。「Select Computer」ウィンドウが表示されます。

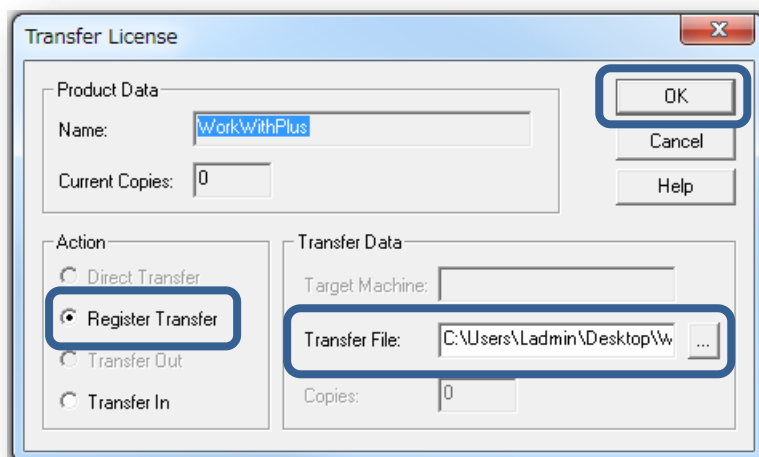


3. 「**Local License**」のオプションが選択されていることを確認し、「**OK**」ボタンをクリックします。

「License Manager」の起動画面に戻ります。



- 「Product」から「WorkWithPlus」を選択し、「Transfer」ボタンをクリックします。
- 「Transfer License」画面が表示されたら、「Action」セクションの「Register Transfer」を選択し、「Transfer File」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、「GxProt.trf」ファイルの保存先を指定します。

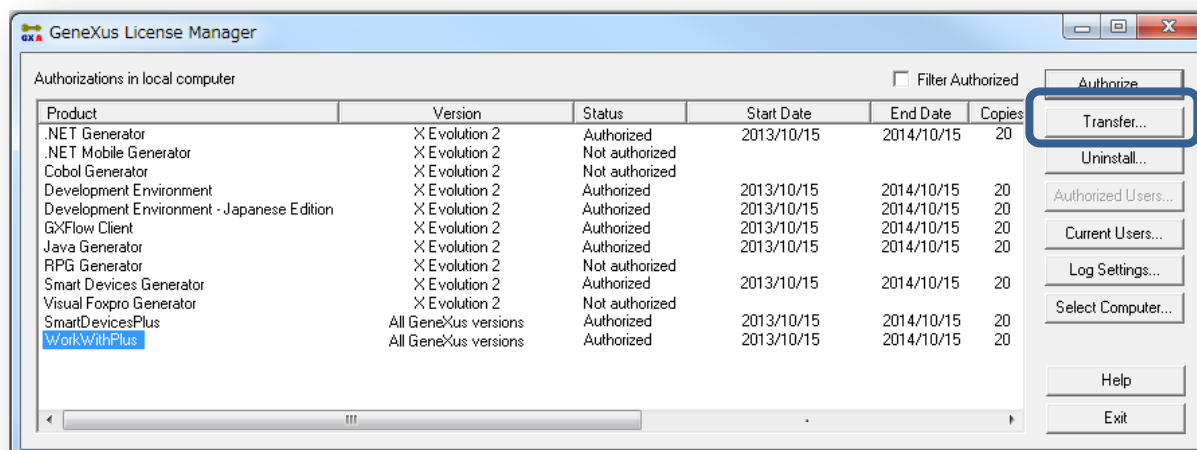


参考：「GxProt.trf」は既定のファイル名です。「.trf」の拡張子を持つ、任意のファイル名に変更してください。

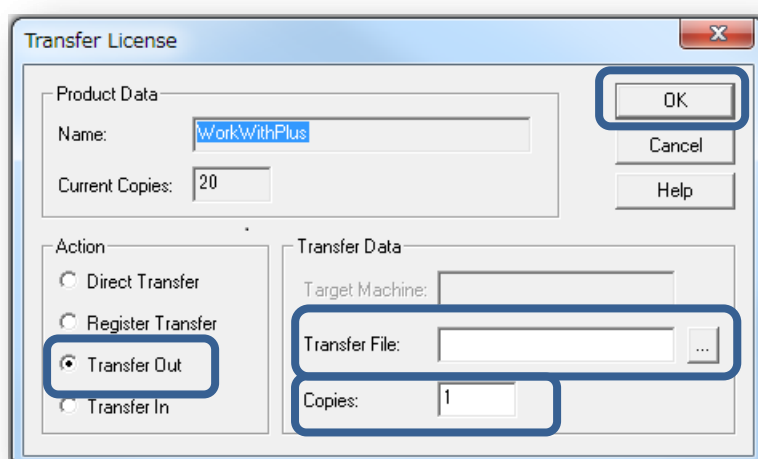
- 「OK」をクリックします。ほかにも移行したいライセンスがある場合は手順4～6を繰り返します。
- 「GxProt.trf」ファイル（複数のライセンスを移行する場合はすべての.trfファイル）をソースマシン（ライセンスキーがインストールされているコンピューター）にコピーします。

この後、ソースマシン（ライセンスの移行元）で操作を行います。

8. ソースマシンから「GeneXus License Manager」アプリケーションを起動します。次のような画面が表示されます。



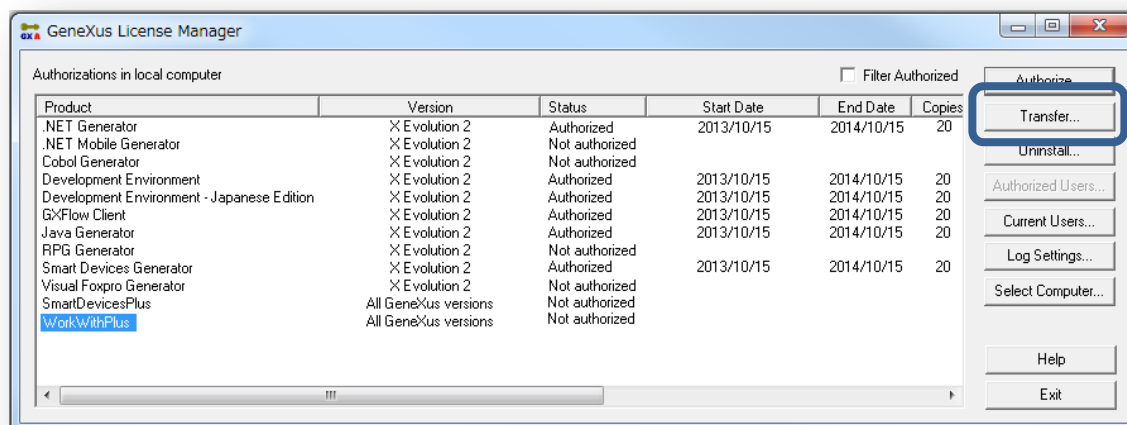
9. 「Product」から「WorkWithPlus」を選択し、「Transfer」ボタンをクリックします。
10. 「Action」セクションの「Transfer Out」を選択し、「Copies」フィールドに必要な数を入力してから、「Transfer File」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、手順 5 の「GxProt.trf」ファイルを選択します。



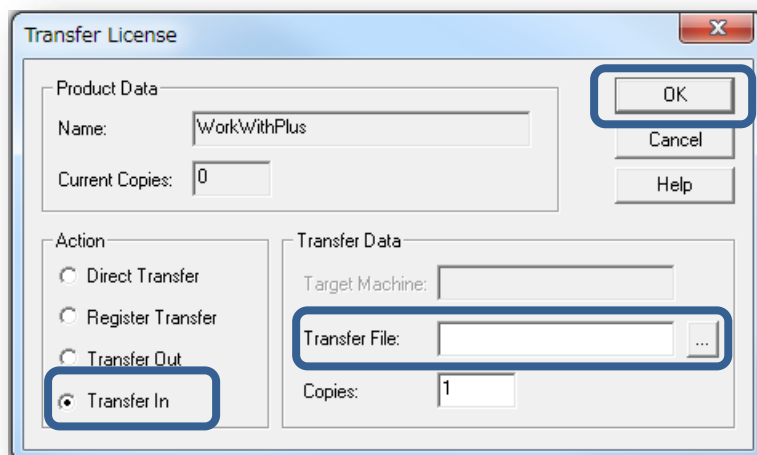
11. 「OK」をクリックします。ほかのライセンスも移行する場合は手順 9～11 を繰り返します。
12. ライセンスデータを格納した「GxProt.trf」ファイル（複数のライセンスを移行する場合はすべての .trf ファイル）をターゲットマシン（ライセンスの移行先）のにコピーします。

この後ターゲットマシン（ライセンスの移行先）に戻って操作を行います。

13. ターゲットマシンから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します。次のような画面が表示されます。



14. 「Product」から「WorkWithPlus」を選択し、「**Transfer**」ボタンをクリックします。
15. 「**Action**」セクションの「**Transfer In**」を選択し、「**Transfer File**」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、手順 12 の「**GxProt.trf**」ファイルを選択します。



16. 「**OK**」をクリックします。ほかのライセンスも移行する場合は手順 14～16 を繰り返します。
- これでライセンスの移行は完了です。

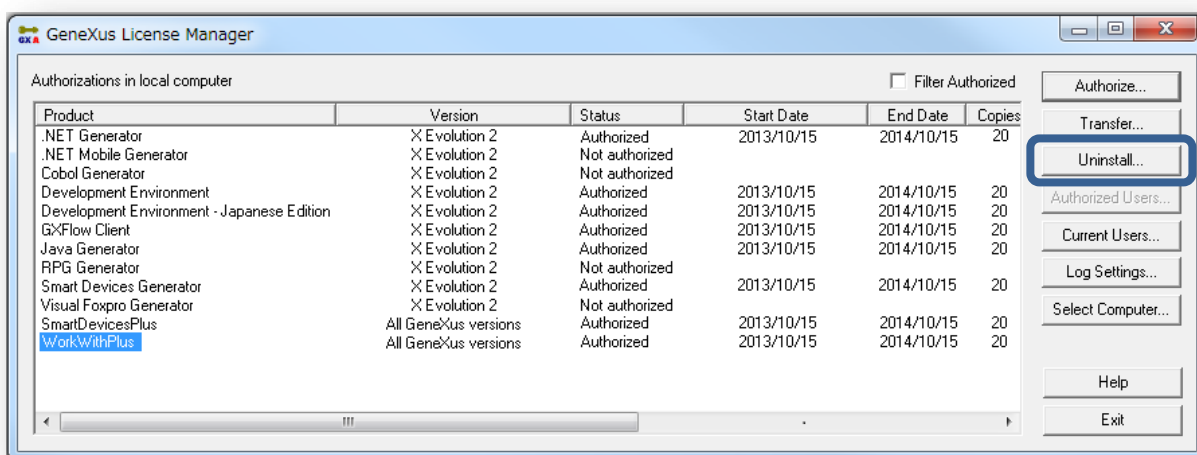
重要： ターゲットマシンでトランスファー(.trf)ファイルを作成後に、もう一度 .trf ファイルを作成しようとすると、警告画面が表示されます。これは .trf ファイルに格納される情報が異なるためです。はじめに作成されたファイルを使って、ソースマシンですでに「Trasfer Out」処理が実行された場合、もう一度 2 度目に作成した .trf ファイルを使って「Transfer Out」処理をやりなおす必要があります。

ライセンスのアンインストール

ここではライセンスをアンインストールする方法について説明します。

1. GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します
(Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

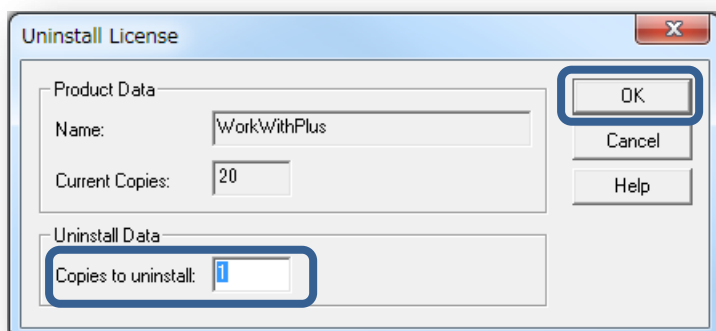
「**GeneXus License Manager**」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



2. アンインストールする製品を選択してから、「**Uninstall**」ボタンをクリックします。

次のような「**Uninstall License**」画面が表示されます。

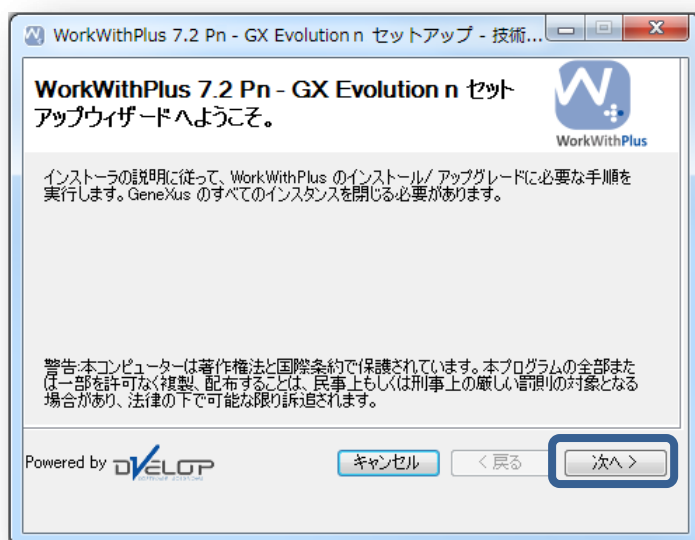
3. 「**Copies to uninstall**」フィールドにアンインストールするライセンス数を入力してから「**OK**」をクリックします。これでライセンスのインストールは完了です。



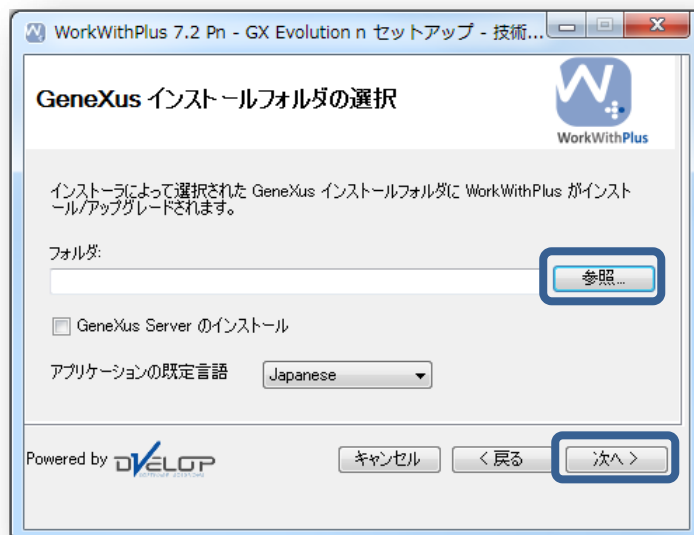
アプリケーションのアンインストール

このセクションでは、アプリケーションのアンインストールについて説明します。最新バージョンの WorkWithPlus では従来のバージョンと異なり、アプリケーションをアンインストールする場合、事前にライセンスをアンインストールする必要はありません。

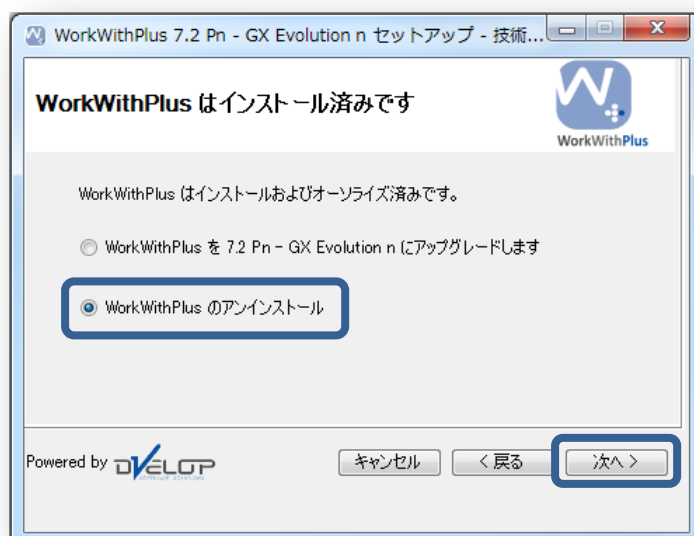
1. GeneXus Japan Web ページから製品版の WorkWithPlus のアプリケーションをダウンロードします。
<http://www.genexus.com/products-japan/www?ja>
2. 「DDevelopWorkWithPlus_7.2.zip」を解凍します。
3. 「DDevelopWorkWithPlus_7.2_Evn_Setup.exe」をダブルクリックして、インストーラを起動します。



4. 「次へ」をクリックします。次のようなインストール先のフォルダを指定する画面が表示されます。



5. 「参照」をクリックして、次のようにインストールされている場所を指定します:
「C:\Program Files\Artech\GeneXus\GeneXusXEv2JP」
6. 「次へ」をクリックします。
7. WorkWithPlus がインストール済みであることを示す以下のダイアログが表示されます。
「WorkWithPlus のアンインストール」のラジオボタンを選択し、「次へ」をクリックします。





8. 次のようなメッセージが表示されます。「完了」をクリックします。



これで WorkWithPlus アプリケーションのアンインストールは完了です。

ライセンスの再発行について

このセクションでは、予期せぬトラブルで WorkWithPlus をインストールしているコンピューターが故障し、ライセンスの再発行が必要になった場合の手順について説明します。

トラブルによっては、エビデンスファイルを提出できる場合と、ハードウェアの破損により、エビデンスファイルを提出できない場合があります。それぞれのケースに応じた手順を説明します。

エビデンスファイルを提出できる場合

GeneXus License Manager のステータスを確認する

WorkWithPlus が起動しない場合、「GeneXus License Manager」の「Status」欄に次のようなステータスが表示されている可能性があります：

- Suspended, data changed
- Suspended, authorization data changed

このようなステータスが表示される場合、次のことが考えられます。

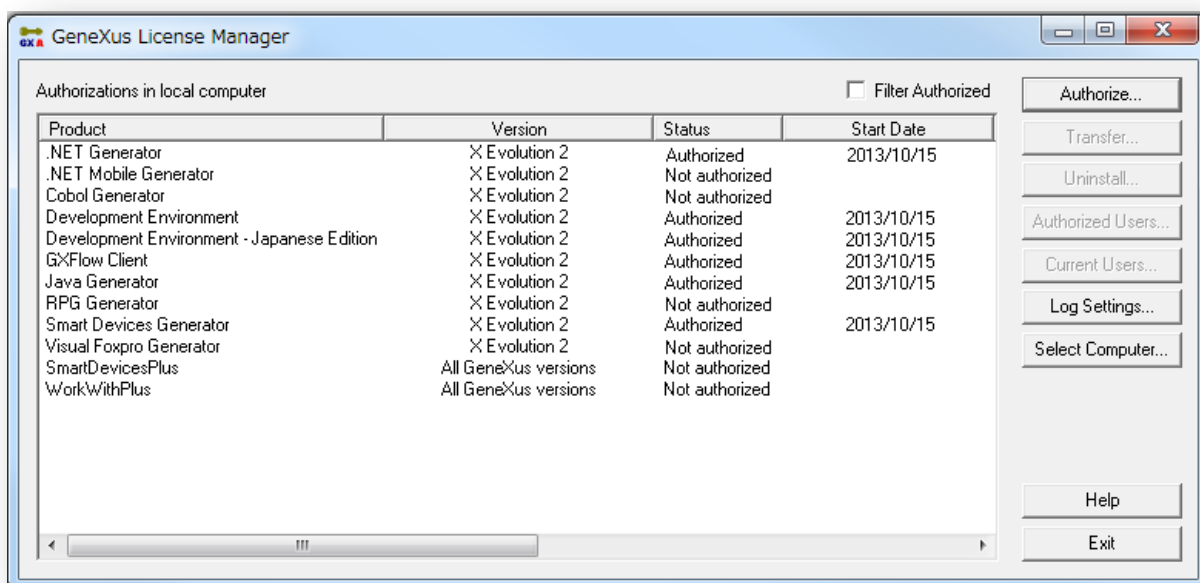
- GeneXus X Evn がインストールされている端末のシステム日付の変更
- レジストリー情報の修正
- OS のアップデートによるシステムの変更
- OS の不具合

重要： GeneXus および WorkWithPlus をインストールしているコンピューターでは、システム日付を変更したり、レジストリー情報を書き換えたりしないでください。「GeneXus License Manager」がシステムデータに不正な変更が加えられたと判断し、GeneXus が使用できなくなる可能性があります。

エビデンスファイルを作成する

1. GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します
(Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。



この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。

2. 「GeneXus License Manager」の起動時の画面（上図を参照）のスクリーンショットを撮り、保存します。
このスクリーンショットには「**Product**」、「**Version**」、「**Status**」、「**Start Date**」、「**Copies**」、および「**Restriction**」の「**Validity Days**」の内容が表示されている必要があります。

重要：「緊急ライセンス」の発行が不要な場合は次の手順に従います。「緊急ライセンス」の発行が必要な場合は手順3の操作と手順4のC)のファイル(.gxa)は不要です。また、緊急ライセンスを請求される場合、メールにその旨を必ず書き添えください。

3. 「[新規ライセンス請求](#)」(P15)セクションの手順2～7にしたがいます。



4. メールアプリケーションで新規メールを作成し、以下のファイルを keysmaster@genexus.jp に送信します。

- A) 「GeneXus License Manager」の起動画面のスクリーンショット
- B) 「Windows」フォルダにある「GxProt.log」ファイル
- C) 上記の手順で作成した「.gxa」ファイル

メールには、以下の情報をお書き添えください。

➤ **送信するメールの件名：** WorkWithPlus ライセンス再発行依頼／WorkWithPlus 緊急ライセンス発行依頼

➤ **メールの本文：**

- 弊社より送付済みのライセンス証書に記載のライセンス番号（6桁の数字）
- 貴社名
- ご担当者名
- お電話番号

エビデンスファイルを提出できない場合

弊社に「ライセンス再発行依頼書」を請求し、必要事項を明記のうえ、社判を押印してから弊社に郵送してください。再発行依頼書の確認後に弊社より連絡を差し上げますので、別途ライセンスの請求手続き（新規ライセンス請求）を行ってください。ライセンス請求については、前述の「[ライセンスの請求](#)」（P15）を参照してください。なお、ライセンス喪失により「**緊急ライセンス**」の貸与が必要な場合は、上記「**ライセンス再発行依頼書**」の**PDF ファイル**を添付し、お買い求めの GeneXus パートナーまたは弊社(keysmaster@genexus.jp)までメールでご依頼ください。



緊急ライセンスについて

GeneXus Japan ではトラブルによりライセンスを喪失されたお客さまのために「緊急ライセンス」を発行しています。これはライセンスが再発行されるまでの暫定的な処置として用意されている 15 日間限定のライセンスです。したがって緊急ライセンスを取り込んだ後に、ライセンスの再発行(新規ライセンス請求)が必要となります。新規ライセンス請求については、前述の「[新規ライセンス請求](#)」(P15) を参照してください。

重要 : 新規ライセンス請求は、緊急ライセンスの残日数が十分にある状態で行ってください。また、緊急ライセンスは新しく発行された正規ライセンスを取り込む直前にアンインストールする必要があります。ライセンスのアンインストールについては、「[ライセンスのアンインストール](#)」(P36) を参照してください。

付録：ライセンス請求・取得チェックリスト

このセクションでは、WorkWithPlus のライセンスの発行および取り込みが円滑に行われるよう、ライセンス請求・取得における制限事項の遵守および実施内容に関する確認項目を記載しています。ライセンス請求・取得の際に、以下に記載されている項目がすべてチェックされているかどうかをご確認ください。記載されているチェック項目に 1 つでも当てはまらない項目がある場合（オプションを除く）、正しくライセンスが発行されない、または取り込めない可能性があります。

新規ライセンス請求・取得チェックリスト

- ☐ WorkWithPlus のライセンスが発行されるのは、最短で請求日の翌営業日になるが問題ない
 - ☐ 受付時間内（下記参照）にライセンス請求を行っている
土日祝日・月末日・年末年始を除く 9:00～16:00
 - ☐ 今日ライセンスを請求しても、月末ではないのでライセンスを取得するのが翌月にはならない
 - ☐ GeneXus License Manager から「**WorkWithPlus Trial**」を選択していない
 - ☐ GeneXus License Manager から「**WorkWithPlus**」を選択し、作成した .gxa ファイルの名前を「SDP_XXXX.gxa」とし、「XXXX」には注文書に記載されているライセンス番号を入力している
 - ☐ GeneXus など他の製品と同時にライセンスを請求するので、他の製品のインストールガイドに記載されている手順で個別にライセンス請求ファイルを作成している（**オプション：該当する場合**）
-
- ☐ 送られてきたライセンスを月が変わらない内に取り込んでいる（月をまたいでない）

参考：新規ライセンス請求については「[新規ライセンス請求](#)」（P15）を参照してください。また、ライセンスの取得については「[ライセンスの取得](#)」（P28）を参照してください。



継続ライセンス請求・取得チェックリスト

- ☐ WorkWithPlus のライセンスが発行されるのは、最短で請求日の翌営業日になるが問題ない
 - ☐ 受付時間内（下記参照）にライセンス請求を行っている
土日祝日・月末日・年末年始を除く 9:00～16:00
 - ☐ 今日ライセンスを請求しても、月末ではないのでライセンスを取得するのが翌月にはならない
 - ☐ GeneXus License Manager の「状態」が「期限切れ」になっておらず、残存日数が **5 営業日以上**ある
 - ☐ ライセンスが既に期限切れまたは残存日数が少ないので、ライセンスをアンインストールしてから新規ライセンス請求をしている（**オプション：該当する場合**）
 - ☐ GeneXus License Manager の起動画面のスクリーンショットを撮った **(1)**
 - ☐ GeneXus License Manager から「**WorkWithPlus Trial**」を選択していない
 - ☐ GeneXus License Manager から「**WorkWithPlus**」を選択し、作成した .gxa ファイルの名前を「SDP_XXXX.gxa」とし、「XXXX」には注文書に記載されているライセンス番号を入力している **(2)**
 - ☐ 「Windows」フォルダにある「GxProt.log」ファイルを用意した **(3)**
 - ☐ 注文書に記載されているライセンス番号を明記し、上記チェックリストのアイテム (1)～(3)を添付したメールを GeneXus パートナーまたは keysmaster@genexus.jp に送信するつもりだ
 - ☐ GeneXus など他の製品と同時にライセンスを請求するので、他の製品のインストールガイドに記載されている手順で個別にライセンス請求ファイルを作成している（**オプション：該当する場合**）
-
- ☐ 新しいライセンスを取り込む直前に、古いライセンスをアンインストールしている
 - ☐ 送られてきたライセンスを月が変わらない内に取り込んでいる（月をまたいでない）

参考：継続ライセンス請求・取得については、「[継続ライセンス請求](#)」(P19)、「[ライセンスの取得](#)」(P28)を参照してください。ライセンスのインストールおよび新規ライセンス請求については、「[ライセンスのインストール](#)」(P36)、「[新規ライセンス請求](#)」(P15)を参照してください。